

大志を育む



平成28年7月22日

(教職員向け)
教育委員会だより
No. 4

発行：北広島市教育委員会

授業改善の視点(学校訪問を通して)

北広島市教育委員会 学校教育相談員 岩田 博明

5月末から始まった石狩教育局指導主事の学校教育指導訪問は、1学期までに11校が終了しました。この指導訪問は、指導主事の指導助言を受けつつ、特設授業と研究協議を通して、学校全体での授業改善につなげることで、校内研究の方向性を確立することを目的に実施しています。実践をもとにした研究協議を充実させることで、先生方の指導力を高め、子どもの学力を確かなものとするための授業づくりに生かしていくことが大切になります。



1. 小中学校での授業交流の大切さ

私はこれまで小学校での勤務が全くありませんでしたが、各小学校を訪問して授業を見させていただき、たくさんのお話を学ばせていただいております。

- ・小学校低学年では、先生方が勉強だけではなく学習規律をしっかりと子どもたちに教えている。
- ・本市教育委員会が推進方針で提示している「課題提示や振り返り」が多くの授業でなされている。
- ・ICTやグループ学習の活用、教材教具も工夫され、丁寧な指導がなされている。
- ・学級の児童の棚や掲示物がきちんと整理されており学習環境が整っている。

小中学校の教員が、お互いの学校の様子を知ることで、きっと多くの発見ができるはずです。お互いの授業を見合うことで、小中一貫教育で期待されている「小中をつなぐ効果的な指導方法確立」に向けて、確かな前進につながるのではないのでしょうか。

2. 授業改善に向けての観点

確かな学力の定着や学力向上は、一朝一夕には実現することはできません。回り道のようにも日々の研鑽と校内外の個人・組織的研究・研修を通して授業改善を図ることが、確実な方法であり、子どもたちの学習意欲や喜びに直結するものであります。以下の観点を参考にして今一度自分の授業を振り返り、授業改善に結び付けてみてはどうでしょうか。

- (1) 課題の提示やまとめ(振り返り)の確実な実行～特にまとめ(振り返り)の実行
- (2) 効果的な授業方法や形態、教材教具の開発と活用(教科部会や学年部会との連携)～同じ学年での指導内容の共有化、グループ学習の目的を明確に
- (3) 学習環境や学習規律の改善、徹底～中学校区スタンダードの実践
- (4) 家庭学習の定着～点検と評価、家庭との連携・協働
- (5) ICTの効果的な活用～活用目的を意識した授業実践
- (6) 習熟度別学習や少人数指導、TT指導の充実～支援が必要な児童生徒への丁寧な対応
- (7) 勉強の仕方指導(個人指導)や補充的な学習の実施～個々の児童生徒への支援
- (8) つまずきの発見と重点的、計画的指導～レディネステストの実施、指導計画への反映

新井白石の「一粒の米」という話をご存知でしょうか。その教えから言うと、『1日だけ頑張っただけで授業づくりに励んでも、すぐに授業が上達するわけではない。けれども、毎日毎日ほんの少しずつでも授業を良くする努力を続けると、1年や2年後には授業が上達したことが目に見えてわかるようになる。』のです。

緑ヶ丘小学校の特色ある取組

28年度の
キーワードは、
「つなげる」!



保護者・地域と学校をつなげる取組

緑ヶ丘小学校の平成28年度の重点教育目標は、「しなやかな心を持ち、主体的に学ぶ子の育成」です。この目標に迫るために、「つなげる」をキーワードに各種の取組を進めています。学びをつなげる、保護者・地域と学校をつなげることを通して、本校に関わる全ての人の心をつなげることをめざしています。

取組①「かぞく de manabi」

土曜授業として福祉や食、北広島のまちのこと、キャリア教育などについて家族と一緒に学ぶ「かぞく de manabi」に取り組んでいます。様々な外部講師に来ていただき、専門的・体験的な学習を行っています。保護者同士や地域との交流を深めることにつながっています。

二年「食育」(栄養)
バターづくり
明治乳業



一年「普通遊び」
お年寄りとの交流
第三住区福祉委員会



五年「福祉」
高齢者疑似体験
社会福祉協議会



六年「夢授業」
ケーキ作り
お菓子の安寿真



四年「北広学」
化石レプリカ作成
市教委学芸員



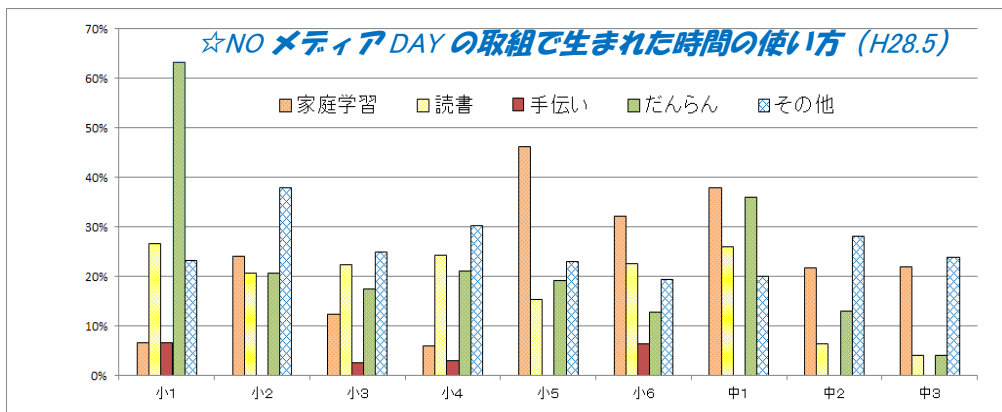
三年「福祉」白杖・
アイマスク体験
ガイドヘルパーの会



保護者アンケートや学校評価を見ると、地域人材の活用、保護者との連携、食育や福祉の学習、自分たちのまちやキャリア教育など多様な面での成果を感じることができました。今年度は、昨年度の反省をもとに、さらに工夫・改善を図った取組を11/5に行う予定です。

取組②「NO メディア DAY」

緑陽中学校との小中一貫教育にもつながる両校PTA合同の取組です。家族のコミュニケーションや規則正しい生活、アウトメディアなどに関する「Green Up 宣言」の取組の一つです。毎月0のつく日と中学校のテスト前は、各家庭で目標を立て「NOメディアDAY」に取り組んでいます。



☆平日のTV・ビデオ・DVDの視聴時間 (H26~28) (%)

	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間以下	見ない
26年11月	10.1	12.6	32.7	38.2	6.5
27年11月	減 8.7	9.2	38.8	増 38.3	増 5.1
28年5月	8.2	11.6	30.9	43.1	6.1

この取組で家庭学習や読書、家族の団らんの時間が増えました!

本校は、開校5周年を迎えました。今年は、新生「緑ヶ丘小学校」の基盤固めの最終ステージであり、さらに、その基盤を大切にしつつ、新たな発展への一步を刻む年です。11月には、広教研研究センター校発表会の開催を通して、この間の教育成果を市内に発信いたします。教職員の強固な協働体制のもと、緑ヶ丘小学校の子どもたちのために全力をつくします。